

にいがた健活アワード2025

実施報告書

2026年3月

新潟日報社

企画の趣旨

新潟日報社では健康寿命を延ばすため、過去4年間「健康寿命日本一」企画を実施してまいりました。今年度も昨年に続き、「にいがた健活アワード2025」を実施いたしました。県民、県内企業・団体に呼びかけ、健康増進のために各々が日ごろ行っている取り組みを募集し、表彰するものです。取り組みを実践する個人や企業・団体の励みとなるだけでなく、県民の「お手本」として、健康立県の輪をさらに広げることを目的に行ってまいりました。

応募について

1. 応募部門／個人の部、法人の部
2. 応募資格／
 - ・新潟県内で日常的に健康増進に取り組む個人、企業・団体
 - ・対象となる取り組みは、1企業・団体、個人につき1件まで
3. 応募方法／以下の3通りの方法
 - ①「にいがた健活アワード2025応募フォームから応募
 - ②所定の応募用紙（A4）を特設サイトからダウンロード。メールで応募
特設サイトURL▶<https://www.niigata-nippo-kenko.com/event07>
 - ③募集チラシから応募。裏面の応募用紙に手書きで記入後、郵送またはファクスで応募
4. 応募内容（詳細）
 - ①取り組みの概要（始めたきっかけ、目的、内容）
 - ②取り組みの成果
 - ③今後の展開
 - ④アピールポイント
 - ⑤添付資料（取り組みの写真やチラシなど）
5. 応募期間・締め切り
 - 応募期間／2025年10月6日（月）～2025年12月12日（金）
 - 締め切り／2025年12月12日（金）当日消印有効
 - ※広告、特設サイト、メルマガ等で告知します。

審査・表彰について

1. 審査・選定方法／有識者らで構成する審査委員会が審査、決定
2. 審査のポイント／①普及の可能性 ②発展性 ③独自性 ④効果への期待 ⑤継続性
 - *上記5点のポイントから取り組みを総合的に審査
3. 表彰（個人の部、法人の部）
 - 最優秀賞各1点 ■優秀賞各3点 ■特別賞各1点
 - ※特別賞は今後の可能性を感じさせる取り組みから選出
4. 発表／審査後、特設サイトで受賞者名を発表。受賞者には事務局から別途連絡。
5. 表彰式
2026年3月15日（日）に新潟日報メディアシップ1階みなと広場で開催。
受賞者には表彰状と副賞を授与。

審査委員名

- ・新潟医療福祉大学教授／審査委員長 佐藤 敏郎 ※敬称略
- ・新潟県健康づくり支援課 課長 相馬 幸恵
- ・全国健康保険協会新潟支部 支部長 高橋 佳子
- ・新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸示
- ・市民代表（フリーアナウンサー） 岡田 花菜子
- ・新潟日報社ビジネス局 局長 阿部 久 以上6人

応募件数

個人部門：18件／法人部門：8件

表彰式までの日程

- 応募期間 2025年10月6日（月）～2025年12月12日（金）
- 審査委員会 2026年2月6日（金）10:30～12:00
会場／メディアシップ14階・新潟日報社会議室1
- 表彰式 2026年3月15日（日）13:00～14:30
会場／メディアシップ1階・みなと広場

審査委員会（紙面）

掲載日：2026年02月12日、面名：広域

(C)新潟日报社

県民や企業などによる健康増進の取り組みを表彰する「いがた健活アワード」の審査会が、新潟市中央区の新潟日報メディアシップで開かれた。個人の部は燕市の中村隆さん(82)、法人の部は千代田設備(新潟市中央区)をそれぞれ最優秀賞に選んだ。

2回目となるアワードは新潟日報社が展開する「いがた健康寿命日本一プロジェクト」の一環。今回は個人の部18件、法人の部8件の応募があり、新潟医療福祉大学の佐藤敏郎教授(82)ら6人が6日、審査に当たった。

最優秀賞に輝いた中村さんは、地域の「歩こう会」に入会しウォーキングを習慣化、積極的な社会参加も

県民のお手本になつてほしい」と講評した。

表彰式は3月15日、新潟日報メディアシップで開かれる。

最優秀賞以外の賞は次の通り(敬称略)。

【個人の部】優秀賞 星野浩一(新潟市西区) 佐藤誠治郎(新潟市中央区) 渡邊敏(上越市) ▼特別賞 佐藤佳代(新潟市江南区)

【法人の部】優秀賞 アイティサポート(新潟市中央区) 大島電気(十日町市) 第三貨物自動車(新潟市東区) ▼特別賞 高橋組(上越市)

いがた健活アワード最優秀賞

個人 中村さん(燕)
法人 千代田設備(新潟中央区)



さまざまな健康増進の取り組みが集まった「健活アワード」の審査会＝新潟市中央区

受賞者の取り組み内容と成果

個人部門（5件）

※敬称略

最優秀賞：中村 隆（なかむら・たかし） 燕市

みんな仲良く・時にはボランティア活動も！

地元の「歩こう会」で10年にわたり、継続してウォーキングを実施。多くの友人・知人と健康づくりに取り組み、心身ともに健康体を維持している。ゴミ拾いも行い、社会参加を心がける。

優秀賞：星野 浩一（ほしの・こういち） 新潟市西区

朝食後ウォークの継続実践（楽しく元気が出るコースを歩く）

朝食後ウォークで歩く場所や歩数のデータを取りながら実践。健康の目安となる血糖値などの数値にも目くばせし、健康増進への意識が高い。ウォーキングコースで自然との触れ合いを満喫し、心の健康にも繋がる。

優秀賞：佐藤 誠治郎（さとう・せいじろう） 新潟市中央区

諦めなければ、誰でも健康に

25年前の大病経験以来、健康活動を実践。今日では子ども達や高齢者にその活動を教えている。受講者からは「健康活動に関心が高まった」などのメッセージが寄せられ、健康寿命延伸を目指し活動している。

優秀賞：渡邊 敏（わたなべ・さとし） 上越市

100kmノーカー通勤

往復100kmの通勤で車から電車に変更し、駅までは自転車、徒歩をメインにする。自宅から駅までの往復10kmの運動で、人間ドックの数値は改善。通勤以外で自転車、徒歩を多く取り入れることを目指している。

特別賞：佐藤 佳代（さとう・かよ） 新潟市江南区

ウォーキングで、更年期も怖くない！

身体の不調から時間を工夫しつつ、ウォーキングを始める。有酸素運動のお蔭で不調から脱却し、仕事にも好影響を与える。今後はスキマ時間を活用しての語学学習に思いを馳せる。

受賞者の取り組み内容と成果

法人部門（5件）

※敬称略

最優秀賞：株式会社 千代田設備 新潟市中央区

「ラジオ体操歴50年」－ラジオ体操が育んだ大きな輪

工事現場で怪我や事故を起こさないことを目的に、1975年から50年にわたり、全社員で毎朝ラジオ体操に取り組む。その姿勢は地域とのコミュニケーションにも繋がる。全国屈指のラジオ体操優良団体である。

優秀賞：アイティーサポート株式会社 新潟市中央区

アイティーサポートの健康サポート

社員が長く健康で働ける職場を目指し、連続休暇制度を導入。また地域の海岸清掃活動に参加し、リフレッシュと社会貢献の両立を図る。健康経営を企業文化として根付かせる取り組みを続けている。

優秀賞：大島電気株式会社 十日町市

社員全員が笑顔で健康に過ごせるように...

全社員の健康を願い、定期検診を人間ドックへ変更。また女性社員への子宮頸がん乳がん健診を偶数年齢時に実施、歯周病チェック、ラジオ体操など多くの取り組みを行い、成果を上げる。

優秀賞：第三貨物自動車株式会社 新潟市東区

毎日測定 自分の血圧を意識しよう

社員の血圧リスク保有率を下げるため、血圧測定器を購入。毎日の測定が自身の体調管理の指標になり、社員の血圧数値が改善。健康に対する意識の高まりを、会社全体で共有している。

特別賞：株式会社 高館組 上越市

The first year 健康の取組を協力業者に広げよう

社内で培ってきた健康経営のノウハウを広く協力業者にも広げ、健康活動でコミュニケーションをとっている。これは建設業界のみならず、真の意味での社会貢献でもある。

表彰式の様子



主催者挨拶／新潟日报社・阿部 久



会場風景／受賞者



表彰／個人部門：佐藤 佳代 様



表彰／法人部門：高館組 様



受賞者代表挨拶／個人部門：中村 隆 様



受賞者代表挨拶：法人部門：千代田設備 様



講評／審査委員長・佐藤敏郎 様

[新潟日報の「目指せ!! 健康寿命日本一」サイト内に『にいがた健活アワード』が掲載されています。](https://www.niigata-nippo-kenko.com/event07)

<https://www.niigata-nippo-kenko.com/event07>

表彰式の様子



健活トーク



受賞者／健活トークでのひとコマ



記念写真

案内チラシ／表面

10月6日(月) 募集開始!!

にいがた元気+

にいがた健活アワード 2025 募集のご案内

健康寿命を延ばすため、県民や企業・団体が日常的に行っている健康増進の取り組みを広く募集し、活動を表彰いたします。実践する個人や企業・団体の励みとなるだけでなく、県民の「お手本」として、健康立県への輪をさらにひろげることがを目的に実施いたします。

- 応募部門**
個人の部、法人の部
- 応募資格**
新潟県内で日常的に健康増進に取り組む個人、企業・団体
対象となる取り組みは、1企業・団体・個人につき1件まで
- 応募方法** 以下の3通りの方法でご応募ください。
①「にいがた健活アワード2025応募フォーム」から応募
URL: <https://forms.run/niigata-award-2025/kenkatsu-award-entryform>
②新設の応募用紙(A4)を特設サイトからダウンロード、メールで応募
特設サイト URL: <https://www.niigata-nippo-kokusa.com/event/>
メールアドレス: genkiplus@niigata-nippo.co.jp
③募集チラシから応募。裏面の応募用紙に手書きで記入後、郵送またはファクスで応募
- 応募内容**
①取り組みの概要(始めたきっかけ、目的、内容) ②取り組みの成果
③今後の展望 ④アピールポイント ⑤添付資料(取り組みの写真やチラシなど)
- 応募期間・締め切り**
■応募期間: 2025年10月6日(月)～2025年12月12日(金)
■締め切り: 2025年12月12日(金)当日消印有効 ※広告、特設サイト、メルマガ等で告知します。

1. 審査・選定方法
応募者全て構成する審査委員会が審査、決定

2. 審査のポイント
①普及の可能性 ②発想性 ③独自性 ④効果への期待 ⑤継続性
上記5点のポイントから取り組みを総合的に審査

3. 表彰(個人の部、法人の部)
■最優秀賞各1点 ■優秀賞各3点 ■特別賞各1点
※特別賞は今後の可能性を感じさせる取り組みから選出

4. 発表
審査後、特設サイトで受賞者を発表。受賞者には事務局から別途連絡いたします。

5. 表彰式
2026年3月15日(日)に新潟日報メディアアップ1階みなと広場で開催
受賞者には表彰状と副賞を授与いたします。

【応募問い合わせ先】
にいがた健活アワード2025事務局(新潟日報社地域ビジネス部内)
〒950-8533 新潟市中央区花伝3-1-1
TEL: 025-385-7434 FAX: 025-385-7438 メール: genkiplus@niigata-nippo.co.jp

裏面に応募用紙がございます

案内チラシ／裏面

「にいがた健活アワード2025」応募用紙

アワード			
個人部/法人部			個人部/法人部(複数)
性別			企業所属(法人のみ記入)
氏名			役職
住所(個人部のみ記入)	郵便番号	電話番号	
メールアドレス	電話番号	郵便番号	
※応募用紙に記入して			
活動のタイトル			
取り組みの概要 取り組みの概要もご記入を原則に、内容についてご記入ください。(300字程度)			
取り組みの成果 取り組みの成果についてご記入ください。(300字程度)			
今後の展望 取り組みの今後の展望についてご記入ください。(200字程度)			
アピールポイント 応募理由や期待のポイントを記入する欄を必ずご記入ください。(200字程度)			
取り組みの概要(個人部/法人部)についてご記入ください。(200字程度)			

募集案内広告 全5段

にいがた元気+

にいがた健活アワード

2025 募集のご案内

健康寿命を延ばすため、県民や企業・団体が日常的に行っている健康増進の取り組みを広く募集し、活動を表彰いたします。実践する個人や団体の励みとなるだけでなく、県民の「お手本」として、健康立県の輪をさらにひろげることが目的に実施いたします。



応募受付中!!
個人の皆さま、
企業・団体の皆さま、
奮ってご応募ください!



職場では、
30分に1回を立ち
昇降びをしています。

日々の健康増進の
取り組みを
教えてください。

応募方法

- 応募部門** ●個人の部 ●法人の部
- 応募資格** ●新潟県内で日常的に健康増進に取り組む個人、企業・団体
●対象となる取り組みは、1企業・団体、個人につき1件まで
- 応募方法** 以下の3通りの方法でご応募ください。
①「にいがた健活アワード2025応募フォーム」から応募
URL▶<https://form.run/@nigata-nippo-2025kenkatsu-award-entryform>
②所定の応募用紙(A4)を特設サイトからダウンロード、メールで応募
特設サイトURL▶<https://www.nigata-nippo-kenko.com/event07>
メールアドレス▶genkiplus@nigata-nippo.co.jp
③募集チラシから応募、裏面の応募用紙に手書きで記入後、郵送またはファクスで応募

応募内容(詳細)

- ①取り組みの概要(始めたきっかけ、目的、内容)
- ②取り組みの成果 ③今後の展開 ④アピールポイント ⑤添付資料(取り組みの写真やチラシなど)
- 【応募内容(例)】
■個人-「カロリーオフの自宅メニューづくり」「早期ウォークの継続実践」
■法人-「自動販売機のカロリー表示」「社内での健康用語の募集と掲示」

応募期間

- 応募期間/2025年10月6日(月)～12月12日(金)
- 締め切り/2025年12月12日(金)
※日曜印刷有物※応募、特設サイト、メルマガ等で告知します。

審査・表彰

- 審査-選定方法** 有識者で構成する審査委員会が審査、決定
- 審査のポイント** ①普及の可能性 ②獨創性 ③独自性 ④効果への期待 ⑤継続性
上記5点のポイントから取り組みを総合的に審査
- 表彰** (個人/法人の部)
■最優秀賞各1点 ■優秀賞各3点 ■特別賞各1点
※特別賞は今後の可能性を感じさせる取り組みから選出
- 発表** 審査後、特設サイトで受賞者名を発表。
受賞者には事務局から別途連絡いたします。
- 表彰式** 2026年3月15日(日)に新潟日報メディアシップ1階みなと広場で開催。
受賞者には表彰状と副賞を授与いたします。



- 【審査委員】
- 新潟医療福祉大学教授 佐藤 敏郎 (審査委員長)
 - 新潟県健康づくり支援課 課長 相馬 幸恵
 - 全国健康保険協会新潟支部 支理員 高橋 佳子
 - 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸示
 - 市民代表(フューアナウンサー) 岡田 花菜子
 - 新潟日報社ビジネス局 局長 阿部 久

●応募-問い合わせ先● にいがた健活アワード2025 事務局(新潟日報社地域ビジネス部内) 〒950-8535 新潟市中央区万代1-1-1 TEL:025-385-7434(土日祝を除く10:00～17:00) FAX:025-385-7438 メール: genkiplus@nigata-nippo.co.jp

